

第1学年外国語（英語）科 学習指導案

茨城県立***学校
指導者 ** **

1 「英語コミュニケーションI」における「話すこと[発表]」の目標

イ 社会的な問題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。

2 単元名 Lesson 4 Creative Problem Solving (Heartening EC I 桐原書店)

3 単元を通した「話すこと[発表]」における目標及び評価規準

(1) 目標

ポイ捨てを減らす効果的な方法について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考えなどを理由とともに話して伝えることができる。

(2) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- ポイ捨てを減らす効果的な方法を話して伝えるために必要となる語彙や表現、音声等を理解している。 - ポイ捨てを減らす最も効果的だと思う方法を、理由とともに話して伝える技能を身に付けている。	聞き手に自分の考えをよく理解してもらえるように、ポイ捨てを減らす効果的な方法についての情報や考えを、聞いたり読んだりした内容を基に、理由とともに話して伝えている。	聞き手に自分の考えをよく理解してもらえるように、ポイ捨てを減らす効果的な方法についての情報や考えを、聞いたり読んだりした内容を基に、理由とともに話して伝えようとしている。

4 単元について

(1) 教材観

本単元は、人間の心理や行動の特徴を利用し、創造的にポイ捨てをなくす様々な仕掛けを述べた論文である。それぞれの事例を人にわかりやすく伝えたり、社会の課題を自分の身近な社会に反映させて思考したものを英語で表現したりする場面を設定すれば、生徒たちが主体的に取り組めるインプット技能とアウトプット技能の育成につながると考える。

(2) 生徒観

中学校から英語を苦手とする生徒が多く、英語学習に心配があると回答した生徒は、*%存在する(*月学習状況アンケート)。今年度初めて EC I の授業で習熟度別授業(発展・標準)を展開している。本クラスは標準クラスで、中学校の既習知識が不足している生徒が多く、「読むこと」と「聞くこと」においては、場面や状況の把握や、概要・要点を把握することが特に苦手である(*社指標において、学年総合*)。生徒は授業中の音読活動に熱心で、各単元の各パートの内容理解のゴールにリテリングを課しているが、生徒の大半が文字と音声を繋げるのみ、またはリプロダクションに止まっている。

(3) 指導観

- 本単元のゴールを、自分の意見を加えたりテリングとする。本文の要点を自ら読み取ることができるよう、要点と細部情報に分けた問いを用意し、それらの回答をつなぎ合わせた要約を奨励する。生徒たちの負荷が軽くなり、話すことへの自信にもつながると考える。
- パラフレーズが苦手な生徒には、単語や文単位で自分の言葉に置き換えて伝えることを奨励する。
- 自分の意見を述べる時間の前には、メモを作成する時間を確保し、誰のための効果的な方法なのか、場面や条件を設定したうえで考えさせる。

5 単元の指導計画(10 時間扱い) (●:学習改善につなげる評価場面、○:評定に用いる評価場面)

時間	学習内容・活動 (■:ねらい、丸数字:言語活動、※:評価方法)	知	思	態	備考
1	■単元の目標を理解し、見通しを持つ。 ①様々なゴミ箱の写真を観察し、その特徴について簡単な英語で説明をしたり、興味を持ったゴミ箱について意見交換したりする。 ※観察、ワークシート、振り返りシート	●		●	・毎時間授業の振り返りは適宜行わせる。
2	■ゴミ箱にゴミを捨てさせる心理学的手法が必要な理由について等の要点を捉える。(Part 1) ①帯活動 (Word definition ゲーム:ゴミに関する易しい名詞や動詞を英語で説明して当てる) ※観察、ワークシート、振り返りシート	●			
3	■Part1 の内容について、相手にわかりやすく話して伝える。 ①帯活動 (1 分間モノログ:自分が住む町等で気になるポイ捨て箇所について話して伝える) ※観察、ワークシート、振り返りシート	●			
4	■ユーモアに訴えかける心理学的手法等の要点を捉える。(Part 2) ①帯活動 (Part 1 リテリング) ※観察、ワークシート、サマリーシート、振り返りシート		●	●	・本単元の評価基準に照らして観察し、本単元で学習した語句や表現の活用、リテリングで必要な要点と細部情報の論理性、音声上の留意点、ペアやグループ内での発表態度について確認をし、適宜フィードバックを行う。
5	■Part2 の内容について、相手にわかりやすく話して伝える。 ①帯活動 (1 分間モノログ:Part 2 で登場するゴミ箱を自分の身近な場所に置きたいか話して伝える) ※観察、ワークシート、振り返りシート	●			
6 本時	■意思表示をしたいという欲求に訴えかける心理学的手法等の要点を捉える。(Part 3) ①帯活動 (Part 2 リテリング) 《本時の流れ》 (1) Part 2 リテリングを、ペアを変えて行う。(一人2回) (2) Part 2 サマリーの穴埋めをする。 (3) Part 3 の音声を数回聞き、「要点」と「細部情報」に関する質問に答える。 (4) 教科書を開本させて本文を読ませ、同じ質問に答える。 (5) ペアで確認をする。 (6) 新出語句の音声と意味を確認する。 ※帯活動でのリテリングは、ペアで相互評価をし、ワークシートに記入し、サマリー、振り返りシートと併せて後日「主体的に学習に取り組む態度」の評価とする。		●	●	
7	■Part 3 の内容について、相手にわかりやすく話して伝えることができる。 ①帯活動 (2 分間チャット:双方で2つの選択肢のある質問文を作り、やり取りをする) ※観察、ワークシート、振り返りシート、	●			

8	■手助けをしたいという本能に訴えかける心理学的手法等の要点を捉える。(Part 4) ①帯活動 (Part 3 リテリング) ※観察、ワークシート、サマリーシート、振り返りシート		●	●	
9	■Part 4 の内容について、相手にわかりやすく話して伝えることができる。 ①帯活動 (2分間チャット：3つのゴミ箱の中で好きなアイディアを、理由とともに伝える) ※観察、ワークシート、振り返りシート	●			
10	■最も効果的だと思うポイ捨て防止の方法について、自分の意見を理由とともに相手に話して伝える。 ①帯活動 (Part 4 リテリング) ②まとめリテリング ③意見と理由を話して伝えるためのメモを作成する ※観察、ワークシート、サマリーシート、振り返りシート		●	●	
後日	単元テスト、パフォーマンステスト、定期試験	○	○	○	

6 パフォーマンステストについて

(1) テストの内容

グループ内で自分の意見を加えたリテリングを実施する。「ごみのポイ捨てを減らす最も効果的な方法」について、自分の考えを理由とともに話して伝える。(タブレットで録画、提出)

(2) 採点の基準

「思考・判断・表現」については、3つの条件をすべて満たしていれば「b」(おおむね満足できる)とする。

条件1：誰のための効果的な方法なのか示している。

条件2：最も効果的なポイ捨てを減らす方法について示している。

条件3：なぜその方法が最も効果的なのか理由を述べている。

観点別の採点基準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	・語彙や表現が適切に自分の言葉で言い換えられている。 ・聞き手に分かりやすい音声等で話して伝えている。	三つの条件を満たしたうえで、最も効果的だと思う方法の理由を、自分の住む町(地域)または対象年齢を想定して具体的に話して伝えている。	三つの条件を満たしたうえで、最も効果的だと思う方法の理由を、自分の住む町(地域)または対象年齢を想定して具体的に説明しようとしている。
b	・多少教科書の原文の再生に止まってはいるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使っている。 ・理解に支障のない程度の音声等で伝えている。	三つの条件を満たして話して伝えている。	三つの条件を満たして話して伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。